カリフォルニア州知事ニューサム：
保護するための金融ウォッチドッグを作成する法案に署名CFPBをモデルにした消費者

PROVIDENT TITLE COMPANY

コンシューマーレポートは、金融業界の監視を強化したことでカリフォルニアを称賛しています

カリフォルニア州サクラメント–コンシューマー・レポートは本日、カリフォルニア州知事のギャビン・ニューサムが、不公正、欺瞞的、虐待的な金融慣行から消費者を保護する州の能力を強化する法律に署名したことを称賛しました。ニューサムが署名した法案（AB 1864）は、カリフォルニアの既存の金融規制当局を、消費者を保護するためのより広範な権限とより多くのリソースを備えた、より堅牢な監視機関に変えます。

カリフォルニア州は、消費者金融保護局（CFPB）が連邦レベルでの執行努力を縮小し、消費者を利用して逮捕された企業に対する罰則を緩和したときに、州の監視を強化しています。CRと消費者および中小企業グループの連合は、現在の経済危機の間に多くのカリフォルニア州民が直面している弱い連邦政府の監視と金融搾取のリスクの高まりを考慮して、提案の背後に集まった。

「経済の崩壊によって大きな打撃を受けた家族は、日陰の貸し手やその他の悪意のある金融会社の主要な標的です」と、消費者レポートの上級政策顧問兼西部州立法マネージャーのスザンヌ・マーティンデールは述べています。「カリフォルニアの金融ウォッチドッグは、略奪的な金融慣行からコミュニティを保護するために必要なツールとリソースを備えており、他の州のモデルとして機能する必要があります。」

マーティンデール氏は続けます。「CFPBが行方不明になっているときに、カリフォルニア州が金融詐欺や虐待を阻止する能力を強化していることは心強いことです。消費者を保護するための包括的な権限とリソースを金融規制当局に与えた州は他にありません。」

AB 1864の下で、ビジネス監視部門が拡張され、財務保護およびイノベーション部門（DFPI）に名前が変更されます。新しいウォッチドッグはCFPBをモデルにしており、州の一般財源からの資金ではなく、過去の執行措置からの事業監督局の既存の準備金を使用して資金が提供されています。

DFPIは、債権回収業者、信用調査機関、いわゆる「フィンテック」企業など、現在監督の対象となっていない重要なセクターを監督する権限の拡大を含め、金融サービス業界に対して幅広い主題の管轄権を持ちます。市場を積極的に監視し、虐待のパターンを特定し、金融会社によって不当に扱われている消費者の救済を確保することを担当する数十人の新しいスタッフによって強化されます。

SOURCE: www.ConsumerReports.org https://bit.ly/2FBLf5s